

**平成 27 年度
施策成果実績検証結果報告書**



笛吹市

平成27年度 施策成果実績検証結果報告書 目次

平成27年度 施策別成果実績評価一覧表	1～3
目標達成度評価	1
時系列比較評価	2
他自治体比較評価	3
平成27年度 施策の成果実績の検証結果	4～5
目標達成度評価	4
時系列比較評価	5
他自治体比較評価	5
平成27年度 施策成果実績検証のまとめ	6

平成27年度施策別成果実績評価一覧表

目標達成度評価

将来像	まちづくりの方向	施策	主管課	評価
みんなで奏でる にぎわい・やすらぎ・きらめきの ハーモニー	実り多い産業と人々の集うまちづくり	1 地域の特色を活かした土地利用をすすめるまちづくり	まちづくり整備課	目標値より低い実績値だった
		2 人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	土木課	目標値より高い実績値だった
		3 機能的で魅力ある市街地づくり	まちづくり整備課	目標値どおりの実績値だった
		4 人々の交流を盛んにするしくみづくり	経営企画課	目標値より低い実績値だった
		5 もてなしの心があふれる観光地づくり	観光商工課	目標値どおりの実績値だった
		6 桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり	農林振興課	目標値より低い実績値だった
		7 活力ある地域経済づくり	観光商工課	目標値どおりの実績値だった
	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	8 災害に強い安全な備えづくり	総務課	目標値より低い実績値だった
		9 命を守り安心して暮らせるしくみづくり	総務課	目標値より高い実績値だった
		10 快適で暮らしやすい生活環境づくり	下水道課	目標値より低い実績値だった
		11 美しい環境を大切にする社会づくり	環境推進課	目標値どおりの実績値だった
		12 憩いと癒しの空間づくり	まちづくり整備課	目標値より高い実績値だった
		13 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり	健康づくり課	目標値どおりの実績値だった
		14 安心して生み育てられる環境づくり	子育て支援課	目標値どおりの実績値だった
		15 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	長寿介護課	目標値どおりの実績値だった
		16 障がい者の自立を支援する環境づくり	福祉総務課	目標値どおりの実績値だった
		17 暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり	国民健康保険課	目標値より高い実績値だった
	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	18 子どもたちの個性を尊重する学校づくり	学校教育課	目標値より低い実績値だった
		19 子どもの健やかな成長を支える環境づくり	子育て支援課	目標値より低い実績値だった
		20 いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	生涯学習課	目標値どおりの実績値だった
		21 身近にスポーツを楽しめる環境づくり	生涯学習課	目標値より低い実績値だった
		22 地域の文化を育み伝える環境づくり	文化財課	目標値より高い実績値だった
	将来像実現に向けた取り組み	23 市民と行政の協働によるまちづくり	市民活動支援課	目標値より低い実績値だった
		24 親しみやすく機能的な市役所づくり	経営企画課	目標値より低い実績値だった
		25 健全で安定した行財政基盤づくり	財政課	目標値より高い実績値だった

平成27年度施策別成果実績評価一覧表

時系列比較評価

将来像	まちづくりの方向	施策	主管課	評価
みんなで奏でる にぎわい・やすらぎ・きらめきの ハーモニー	実り多い産業と人々の集うまちづくり	1 地域の特色を活かした土地利用をすすめるまちづくり	まちづくり整備課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		2 人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	土木課	成果がどちらかと言えば向上した
		3 機能的で魅力ある市街地づくり	まちづくり整備課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		4 人々の交流を盛んにするしくみづくり	経営企画課	成果がどちらかと言えば低下した
		5 もてなしの心があふれる観光地づくり	観光商工課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		6 桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり	農林振興課	成果がどちらかと言えば低下した
		7 活力ある地域経済づくり	観光商工課	成果がどちらかと言えば向上した
	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	8 災害に強い安全な備えづくり	総務課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		9 命を守り安心して暮らせるしくみづくり	総務課	成果がどちらかと言えば向上した
		10 快適で暮らしやすい生活環境づくり	下水道課	成果がどちらかと言えば低下した
		11 美しい環境を大切に作る社会づくり	環境推進課	成果がどちらかと言えば向上した
		12 憩いと癒しの空間づくり	まちづくり整備課	成果がどちらかと言えば向上した
		13 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり	健康づくり課	成果がどちらかと言えば向上した
		14 安心して生み育てられる環境づくり	子育て支援課	成果がどちらかと言えば向上した
		15 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	長寿介護課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		16 障がい者の自立を支援する環境づくり	福祉総務課	成果がどちらかと言えば向上した
		17 暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり	国民健康保険課	成果がどちらかと言えば向上した
	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	18 子どもたちの個性を尊重する学校づくり	学校教育課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		19 子どもの健やかな成長を支える環境づくり	子育て支援課	成果がどちらかと言えば低下した
		20 いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	生涯学習課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		21 身近にスポーツを楽しめる環境づくり	生涯学習課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		22 地域の文化を育み伝える環境づくり	文化財課	成果がどちらかと言えば向上した
	将来像実現に向け た取り組み	23 市民と行政の協働によるまちづくり	市民活動支援課	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)
		24 親しみやすく機能的な市役所づくり	経営企画課	成果がどちらかと言えば低下した
		25 健全で安定した行財政基盤づくり	財政課	成果がどちらかと言えば向上した

平成27年度施策別成果実績評価一覧表

他自治体比較評価

将来像	まちづくりの方向	施策	主管課	評価
みんなで奏でる にぎわい・やすらぎ・きらめきの ハーモニー	実り多い産業と人々の集うまちづくり	1 地域の特色を活かした土地利用をすすめるまちづくり	まちづくり整備課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		2 人が行き交う道路・交通ネットワークづくり	土木課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		3 機能的で魅力ある市街地づくり	まちづくり整備課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		4 人々の交流を盛んにするしくみづくり	経営企画課	他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である
		5 もてなしの心があふれる観光地づくり	観光商工課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		6 桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり	農林振興課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		7 活力ある地域経済づくり	観光商工課	他自治体と比べてほぼ同水準である
	環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくり	8 災害に強い安全な備えづくり	総務課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		9 命を守り安心して暮らせるしくみづくり	総務課	他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である
		10 快適で暮らしやすい生活環境づくり	下水道課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		11 美しい環境を大切に作る社会づくり	環境推進課	他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である
		12 憩いと癒しの空間づくり	まちづくり整備課	他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である
		13 健やかで生きいきと暮らせる環境づくり	健康づくり課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		14 安心して生み育てられる環境づくり	子育て支援課	他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である
		15 高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	長寿介護課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		16 障がい者の自立を支援する環境づくり	福祉総務課	他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である
		17 暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり	国民健康保険課	他自治体と比べてほぼ同水準である
	個性輝く人々が育ち、活躍するまちづくり	18 子どもたちの個性を尊重する学校づくり	学校教育課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		19 子どもの健やかな成長を支える環境づくり	子育て支援課	他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である
		20 いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり	生涯学習課	他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である
		21 身近にスポーツを楽しめる環境づくり	生涯学習課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		22 地域の文化を育み伝える環境づくり	文化財課	他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である
	将来像実現に向けた取り組み	23 市民と行政の協働によるまちづくり	市民活動支援課	他自治体と比べてほぼ同水準である
		24 親しみやすく機能的な市役所づくり	経営企画課	他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である
		25 健全で安定した行財政基盤づくり	財政課	他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である

平成 27 年度 施策の成果実績の検証結果

第一次笛吹市総合計画では、本市の特性や時代の潮流を踏まえるなかで、まちづくりの基本理念や 10 年後の市の将来像及びそれを達成するために必要な方向を定めています。

基本計画は、平成 20 年度から平成 24 年度を前期、平成 25 年度から平成 29 年度を後期と定め第一次笛吹市総合計画の基本構想で示した将来像「みんなで奏でる “にぎわい・やすらぎ・きらめき” のハーモニー」を達成するための施策の展開方向を示しています。

後期基本計画では、前期の 28 施策の見直しを行い、改めて施策を 25 とし将来像を達成するため施策ごとに年度目標を定め積極的に取り組むこととしております。

後期基本計画の成果実績については、毎年度、施策マネジメントシートの作成を行い、施策ごとに施策マネジメント会議を開催し、主管課長及び関係課長が一堂に会し検証を行っています。

平成 27 年度の成果実績については次のとおりです。

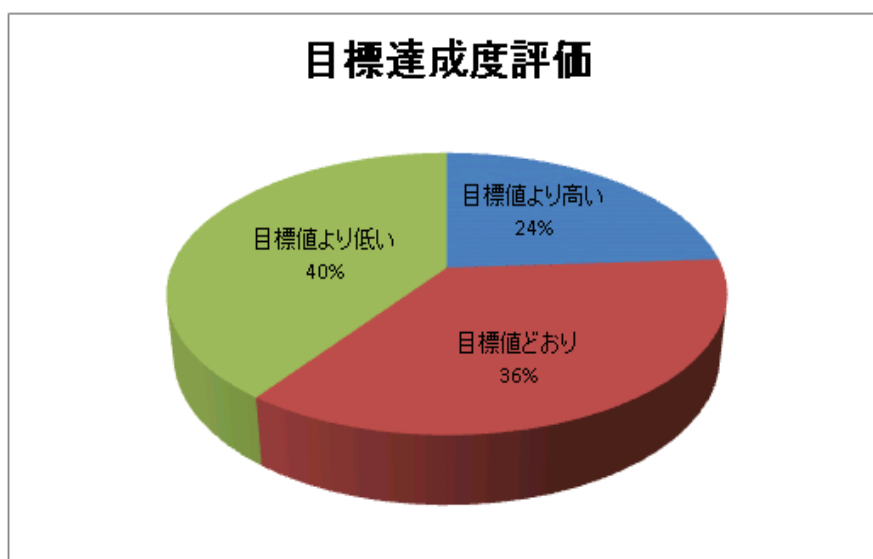
施策の成果実績(検証結果)

① 目標達成度評価

目標値より高い実績値だった施策 ⇒ 6 施策 (24%)

目標値どおりの実績値だった施策 ⇒ 9 施策 (36%)

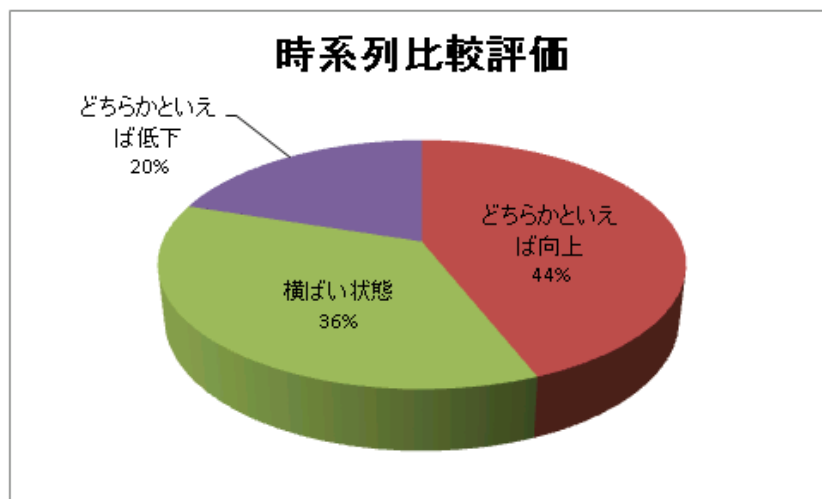
目標値より低い実績値だった施策 ⇒ 10 施策 (40%)



平成 27 年度 施策の成果実績の検証結果

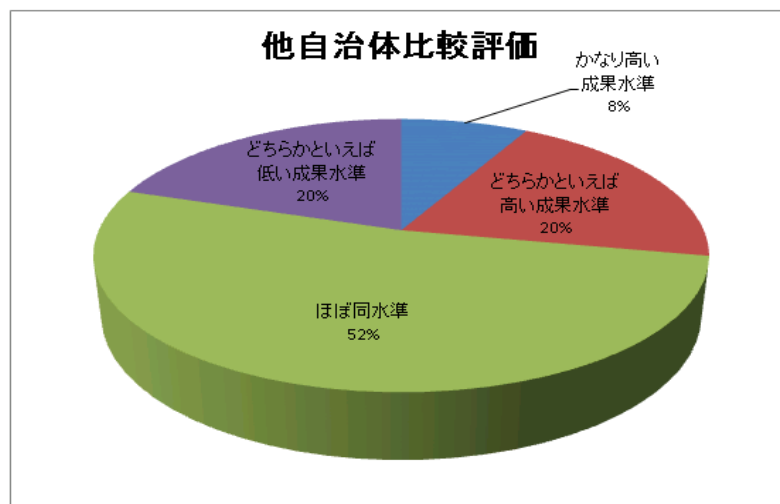
② 時系列比較評価

- 成果がかなり向上した施策 ⇒ 0施策
- 成果がどちらかといえば向上した施策 ⇒ 11施策 (44%)
- 成果はほとんど変わらない施策(横ばい状態) ⇒ 9施策 (36%)
- 成果がどちらかといえば低下した施策 ⇒ 5施策 (20%)
- 成果がかなり低下した施策 ⇒ 0施策



③ 他自治体比較評価

- 他自治体と比べてかなり高い成果水準である施策 ⇒ 2施策 (8%)
- 他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である施策 ⇒ 5施策 (20%)
- 他自治体と比べてほぼ同水準である施策 ⇒ 13施策 (52%)
- 他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である施策 ⇒ 5施策 (20%)
- 他自治体と比べてかなり低い成果水準である施策 ⇒ 0施策



平成 27 年度施策成果実績検証のまとめ

近年では、「公共は行政と民間が協働してそれぞれの分野(役割)を担う」との新たな視点から構築しようとする「新しい公共」の概念へと移行する動きがあります。先進国の中では、こうした現象に対して経済の活性化と共に、国、地方を通じた行財政改革が叫ばれるようになり、こうした社会環境の中で「小さな政府」を目指し、行政の効率化、スリム化を図るための手段として「行政評価」という新しいツールが考え出されました。本市でも、税収減少に伴う行政運営の危機的な状況を切り抜けるために、新たな手法として「行政評価」の導入を行いました。

導入にあたっては、従来の「最初に事業がありき」「事業の財源を確保することが先にありき」の事業発想から、本来の「まちづくりの課題解決が優先」「税金を掛けるべき事業を組み立てその優先順位を付ける」等の政策課題発想に取り組むと共に、課題を解決するための最適な役割分担を住民と行政とで合意し、課題解決の結果を振り返り、評価を行い、より良くするための知恵を振り向け、次に反映させることに務めることとしています。

中でも、「施策評価」は、第一次笛吹市総合計画の基本構想で示した将来像「みんなで奏でる“にぎわい・やすらぎ・きらめき”のハーモニー」を実現するため、後期基本計画の中で定めた 25 の施策に対して、「目標達成度評価」とともに、「時系列比較」「他自治体との成果実績値の比較」により、現状把握と課題抽出を行い、目標達成及び課題解決に向け積極的に事業展開を行っています。

しかしながら、施策の成果実績(検証結果)の目標達成度評価が示すとおり「目標値より高い実績値だった施策」が 6 施策及び「目標値どおりの実績値だった施策」が 9 施策と両方で全体の 60%にとどまっております。

長期財政計画の推計から見ると、平成37年度までの間においては、直ちに財政が危険な状況になることはありませんが、基金残高は、平成32年度から毎年約10億円ずつ減少していくこととなり、いずれは底を突くなど厳しい財政状況が予測されます。

また、歳入については、人口減少に伴う市税の減少、普通交付税の一本算定化による段階的縮減により、歳入状況は一段と厳しい状況となることが予測されます。

一方、歳出については、高齢化社会の進展に伴う社会保障費の増加、臨時財政対策債及び合併特例債の活用に伴う公債費の増加、公共施設の老朽化による改修・修繕費の増加等、多くの懸念材料が存在しています。

財政状況は、これから一段と厳しくなることが見込まれることから、「将来像」の実現に向けて、事業の優先度を反映させた「選択と集中」による予算編成を断行し、将来にわたって健全な財政状況が堅持していけるように、総合計画(施策)の達成度を評価する「施策評価」と施策を実現するための具体的な手段(事務事業)の有効性や効率性を評価する「事務事業評価」を、引き続き実施していくことはもとより、職員一人ひとりがコスト意識を持って、より一層の知恵を絞り出し目標達成を目指すと共に、全庁あげて全力で「選択と集中」に取り組むことが必要です。